# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成26年度）

## 2. 分野等別状況　（2）地域活性化総合特区　④観光分野（2/7）

| | 評価区分（※） | 評価結果（ⅠとⅡとⅢの平均値） | Ⅰ 目標に向けた取組の進捗に関する評価 | Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況 | Ⅲ 総合評価 | 総合評価に係る専門家所見（主なもの） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 和歌山県「高野・熊野」文化・地域振興総合特区<br>（和歌山県） | 正 | 4.0 | 3.9<br><br>進捗度<br>・世界遺産関連地域における観光客総数（延べ人数）<br>98%<br><br>・世界遺産関連地域における外国人宿泊客総数（延べ人数）<br>148%<br><br>・世界遺産に関する講義と現地ウォークなどを組み合わせた次世代育成事業の受講者数<br>116%<br>等 | 4.2<br><br>規制の特例等<br>・地域活性化総合特別区域通訳案内士育成等事業<br><br>・貸切バス事業における営業区域の弾力的運用<br>（H26.4.1から2年間の措置）<br><br>財政支援等<br>・重要文化財（建築物）修理事業<br>等<br><br>地域独自の取組<br>・和歌山県世界遺産緊急保全対策事業補助金<br>等 | 4.0 | ・国内外からの観光客受入促進は、単なる物見遊山だけでない精神的な魅力醸成に努めていることが評価できる。次世代に引き継いでいく姿勢には、観光面での持続的な効果が期待できる。今後は、外国人に対しても世界遺産としての本質的な価値が正しく伝わるような取組みに力を入れてほしい。<br><br>・特区通訳案内士のさらなる活用とスキルアップ、新規育成の方向性は正しいので推進していただきたい。 |

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

◆評価書はこちら　◆評価結果はこちら